

平成 30 年度 第 2 回 学校運営協議会 議事録

司会：押野 裕全日制教頭

日時：平成 30 年 11 月 7 日（水） 14 時 30 分～16 時 00 分

場所：本校会議室

出席者

東海大学非常勤講師（元本校校長）	長田 利彦
東栢山城北自治会長	小木 朝美
桜井小学校教諭	劔持 直子
PTA 副会長	安田 奈々
城北工業高等学校長	改田 晃
城北工業高等学校副校長	岩碕 篤
[全日制]城北工業高等学校教頭	押野 裕
[定時制]生徒支援グループ	石原 英之
[定時制]学校管理グループ	菊川 巖
[全日制]広報連携グループ	山岸 聡志
[全日制]広報連携グループ	磯田 裕也

次第

(1) 会長あいさつ

(2) 校長あいさつ

以下報告。

- P T A 会長が辞退したので、運営協議会の委員を代える。
- 県西高等学校 P T A 連合会大会を無事終了することができた。
- 10 月 27 日 28 日無事分化祭が終了した。
- 11 月 10 日（土）より全日制 2 学年が修学旅行に行く。
- 定時制生徒を対象に本日、防災講演会が行われる。
- 小田原市防災対策課と合同で「避難所初動対応マニュアル」を作成した。
- 入選に向けた一番の課題は広報 PR である。県西地区は 4 クラス分人数減だが、高等学校では 1 クラス増 2 クラス減のため希望者が少なくなる可能性もある。その原因の 1 つには中学の若手教員の工業高校（専門高校）の認知度が低いのでは。8 月 28 日専門高校だけの学校説明会を中学校教員向けに実施した。
- 商工会と連携して工場見学を計画するなど本校若手教員の育成にも力を入れている。
- 耐震工事が実施される。工事に際してさまざまな困難が予想されるが知恵を拝借したい。

(3) 学校運営協議会委員の委嘱

安田奈々 P T A 副会長（会長代行）に委員を委嘱。

(4) 協議

①今年度の取組の中間報告について（全・定担当）

全日制

[教育課程・学習指導]

- 生徒による授業評価「教材が工夫されるなどして、取り組みやすい授業である」にあてはまる回答が4割以上であることを目標にしたが、実際には33%であった。
- 体育祭の満足度は88%と目標である80%以上を達成した。

[生徒指導・支援]

- 身だしなみ指導の実施により服装・頭髪などの身だしなみは前進している。
- いじめの認知案件は軽微なもので生活指導、担任が指導して解決にあたった。
- 部活動加入率を72%以上にすることを目標にしたが、68%で達成できなかった。2、3年生が何名か退部したことが考えられるので継続して活動をさせる工夫をしたい。一方では、部活動における健康と安全を配慮し休養日を平日52日、土日52日以上とることを目標としたが、これはいずれの部活動も達成している。

[進路指導・支援]

- インターンシップでは合計20名以上参加することを目標とし、現在7名が実施している。今後実施する学科もあるので引き続き積極的にインターンシップに参加させたい。

[地域等の協働]

- 地域と連携したものづくり活動への参加生徒数の増加を目標にし、「ゴミステーションのケージ製作・設置」「花いっぱい活動への参加」等へ参加した。今後「栢山駅前のクリスマスイルミネーション」を実施する予定である。
- P T A と連携した活動に参加した保護者からの評価が良好であることを目標とし、地区大会を成功させ、また、成人教育委員会の社会見学も多数の参加があり良好な研修を行っている。
- ホームページのアクセス数が増加していることを目標としたが、HP情報からの問い合わせが増え、目標を達成することができた。カウンターなどを設置し、数値で評価できるようにしていきたい。

[学校管理・学校運営]

- 防災訓練などにより高い防災意識を維持することを目標とし、「避難所初動対応マニュアル」を小田原市と連携して作成し、自治会と地域防災について考えた。
- 職員を対象に「障害者の人権について」というテーマで人権研修を行い、職員の意識を高めることができた。12月には、人権男女参画研修、不祥事防止研修を実施予定である。

定時制

[教育課程・学習指導]

- 生徒による授業評価において「授業中生徒同士で話し合う機会などがある」の項目においてあてはまる回答が 75%以上を評価の観点としているが、73%であったので引き続き授業改善に努めていきたい。
- 学校行事や生徒会行事に生徒が主体的に参画していることを評価の観点としているが、多くの生徒がマラソン大会や体育祭に参加するなど主体的・積極的に活動できた。

[生徒指導・支援]

- スクールカウンセラーを含めた全ての職員が生徒情報を共有する機会を設けることを評価の観点としているが、全職員による情報共有会と個別のケース会議を各 2 回実施し、概ね目標を達成できた。
- 車両通学や日常における交通安全の指導の充実を図ることを評価の観点としているが、車両点検等の実施により指導を強化することで生徒の交通安全意識の向上を図ることができた。
- いじめの認知件数は 2 件あったが、加害生徒への指導および被害生徒への継続的な支援を行い、概ね目標を達成できた。
- 年間を通して部活動に参加する生徒を増加させるという目標については、部活動に参加する生徒の割合が増加したので概ね目標を達成できた。

[進路指導・支援]

- 卒業後の進路希望を把握し、生徒一人ひとりに合った進路実現に向けた指導をすることを評価の観点としているが、定期テスト毎に面談期間を設定し、全校生徒を対象とした個人面談を実施するなど、概ね目標を達成できた。
- キャリア教育のねらいに沿った企画を実施することを評価の観点としているが、専門教育等を通して、生徒が主体的に求人票を閲覧するなど、職業観などの意識の向上が見られ概ね目標を達成できた。

[地域等との協働]

- 近隣の小中学校などとの連携・協働した取り組みをすることを評価の観点としているが、桜井小学校にて開催された「桜井キッズフェスタ」に参加し、小学生との交流を深めるなど概ね目標を達成できた。
- リニューアルしたHPを通じて、生徒の活動の様子や資格の取得状況を発信することを評価の観点としているが、始業式や社会見学、体育祭などの行事をHPに更新するなど、目標を達成できた。

[学校管理・学校運営]

- 夜間防災訓練や講演会などを実施し、生徒の防災意識の向上を図ることを目標とし、6 月に夜間防災訓練を実施した。また、「避難所初動対応マニュアル」を作成した。
- 職員の課題意識の共有化を図るため、効果的な事故防止研修を毎月実施することを目標とし、現在まで毎月実施している。引き続き目標を達成するために、職員の不祥事防止に対する意識の啓発を図っていく。

②生徒の活動状況（全・定担当）

全日制

[進路指導]

進路指導における本校求人状況は 1000 社を超えている。今後も引き続き生徒一人ひとりに合った進路指導をしていきたい。

[部活動]

- 陸上部では関東大会・インターハイに出場した。来年度の活躍も期待されている。
- 自動車部では HONDA エコマイレージチャレンジ全国大会では 3 チームがエントリーし、最優秀チームで 7 位であった。初出場のチームも 26 位の結果で新人賞をもらい健闘であった。
- 高校生ものづくりコンテストでは電子回路組み立て部門 3 位、電気工事部門 3 位であった。

[資格取得状況]

計算技術検定や情報技術検定においては前年では受験者が居なかったものも今年には受験者が増え、増加傾向にある。

[地域連携]

6 月にあじさいまつりへデザイン科が運営補助として参加した。

例年実施されているパッカー車デザインペイントをデザイン科が実施した。

小田原市みなみ町の歴史的建造物の修理として建設科が部材を製作中である。

[生活指導]

7 月実施予定であったヤングライダースクールは雨天中止であった。

12 月にスケアードストレイト 交通安全教室が実施予定である。

定時制

[在籍数]

退学者もあり在籍数は減少傾向である。

[進路実績]

現在未定者もいるが就職を希望する生徒は例年最終的には殆ど全ての生徒が就職（内定）している。

[生徒活動・資格取得]

夏期集中講座では「基礎数学全般」が3名、「英語の基礎」が1名、「ものづくりD（電気分野）」が2名参加した。

小型クレーン特別教育講習修了 5名

電気工事士二種 2名

計算技術検定3級 2名

計算技術検定4級 3名

情報技術検定3級 3名

[地域連携]

地域貢献活動（地域清掃活動）を6月29日（金）に実施した。

夜間防災訓練を6月13日（水）に実施した。

10月5日（金）の桜井キッズフェスタに生徒5名と職員が参加した。

③委員からの意見聴取

長田委員より

工業高校の活性化を図るためには地域および一般の方々の工業高校のイメージを一新する必要があるのでは。現在アイデアを模索中であるが、全体で考えていくべき課題であろう。城北高校の若手教員の育成に着目することはとても大事である。

小木委員より

「城北元気の会」を文化祭と同時に開催できたことは大変良かった。地域の方々が学校の中を見ることはとても良かった。

剣持委員代理より

細分化された学校評価の目標設定は小学校にはなく、積極的な取り組みが汲み取れた。授業を見学した際は、専門的な内容の授業を前向きな姿勢で受けている生徒の姿を見ることができて、とても良かった。パッカー車は地域の人からも大変評判であり、活動を継続してほしい。

安田委員より

保護者の視点に立つと、城北は本当に夢のある学校であると感じた。塾に通うことが主となっている時代の中では普通科に通うことが当たり前になっているように感じる。タウンニュースなどの広報紙を小中学校に配付するなどPR活動をさらに強めていきたい。中学校で開催される高校の説明会では専門高校は農・工・商が順番に来ているように思う。工業高校はかならず参加するようにできないか。

(5) 情報交換

(6) その他

次回日程

3月に開催予定

(7) 当日配付資料

- ① 平成30年度 小田原城北工業高等学校 学校運営協議会委員名簿
- ② 平成30年度の取組の中間報告（全・定）
- ③ 学校要覧